

常任委員会の審査報告

総務市民常任委員会

一般会計補正予算、財産の取得等について

問 子ども医療費の助成及び重度心身障がい者医療費の給付に関する事務で、新たに個人番号を利用する事務とは何か。

答 県補助事業の所得要件の確認のために、市民税の課税に関する情報を利用するものである。

問 防災ラジオの購入台数は合計で何台か。また、現在市民からの申込台数は何台か。

答 購入台数は、平成29年度の9,000台と今年度の4,000台で合計1万3,000台である。また、現在の申込台数は9,098台である。

討議 自然災害が多発する現状において、行政のお知らせはもとより、防災情報の的確な提供を行うため、遅滞なく契約及び納品等を進めるべきである。

問 太田住民センターの空調機器設置工事について、どのような経緯で設置することとしたのか。

答 東和ロードレース大会に使用する施設であり、猛暑の中行われた今年の大会の反省から、来年の大会までに設置する必要があると判断したもので

ある。

問 空調設備の設置状況及び今後の整備計画は。

答 現在、空調設備は事務室及び児童室にあり、今回、大ホールに設置する計画である。中ホールに設置する計画はないが、中ホールで開催していた会議等についても必要に応じて大ホールで開催できるものと考えている。

討議 現計画では天井型の設備とのことであるが、置き型に見直すことで費用を抑え、予算の範囲内で中ホールにも設置できるよう再検討すべきである。



机上審査の様子

産業建設常任委員会

一般会計補正予算等について

問 生活道路整備費補助について、今年度の申請件数と地域別の内訳はどうなっているか。また、補正後の予算で何件分対応できるのか。

答 今年度の申請は、二本松地域8件、安達地域1件、岩代地域3件、東和地域3件の計15件となっており、補正後の予算で、ほぼすべてが対応可能である。

問 生活用水確保補助金は、給水区域内においても、今年の猛暑のような自然現象により井戸が出なくなった場合にも対象となるのか。

答 基本的には、水道未普及地域における井戸ボーリングに対する補助であるが、給水区域内であっても本管からの距離があまりにも離れている場合には、認められるケースもある。

問 合戦場のしだれ桜周辺の駐車場整備は、当初予算で措置されていなかったが、予定は当初からあ

ったのか。

答 総合計画において、平成31年度設計、平成32年度造成で計画をしていたが、来年度に全国さくらシンポジウムが開催されるため、開催前に前倒しで整備する計画とした。

討議 近隣の平坦な民地をお借りするなど、整備方法については再度検討し、無駄のない予算執行に努めてほしい。



現地調査の様子（合戦場のしだれ桜周辺整備事業）

9月6日に付託された各議案は、9月11日から12日の各常任委員会で詳細な審査が行われ、最終日26日の本会議で各常任委員長から審査の経過と結果が報告されました。
各常任委員長から報告された審査の主な状況をお知らせします。

文教福祉常任委員会

一般会計補正予算等について

問 新たな共生型地域密着型サービスとは、どのようなものか。

答 一つの事業所で障がい者福祉サービスと介護保険サービスを一体的に行うことができるサービスであり、これまで障がい者福祉サービス利用者は、65歳になると介護保険サービス事業所に移らざるを得なかったが、登録事業所であれば、同一施設で継続利用できるようになる。

問 高齢者の公共交通運賃無料化の費用について、積算はどのようになっているのか。また、旅客業など他事業者のリスクについて、どうしていくのか。

答 運賃の費用補填については、今後の財政負担の試算として、現在の事業者売上実績の3分の1程度、2,580万円と推計している。また、リスクについては、総務部と連携を図りながら、事業者及び地域公共交通活性化協議会で協議し、進めていきたい。

問 保育対策総合支援事業については、どのような事業に対する補助か。

答 「午睡（ごすい）チェッカー」という昼寝中の子どもの動きを検知するセンサーが付いた機械の導入経費の補助であり、昼寝中の突然死を防ぐために、幼児の状態を確認する保育士の負担軽減に繋がるものである。



机上審査の様子

議案などを専門的、合理的、能率的に審査する常設の常任委員会のほかに、特定事件を審査するために特別委員会を設置することができます。

9月定例会では、平成29年度各会計決算を審査するため決算審査特別委員会を設置しました。

9月14日、18日に、全体会で机上での総括審査を行った後、分科会に分かれ質疑・討議が行われました。

審査の主な内容は、2～3ページをご覧ください。



決算審査特別委員会全体会の様子